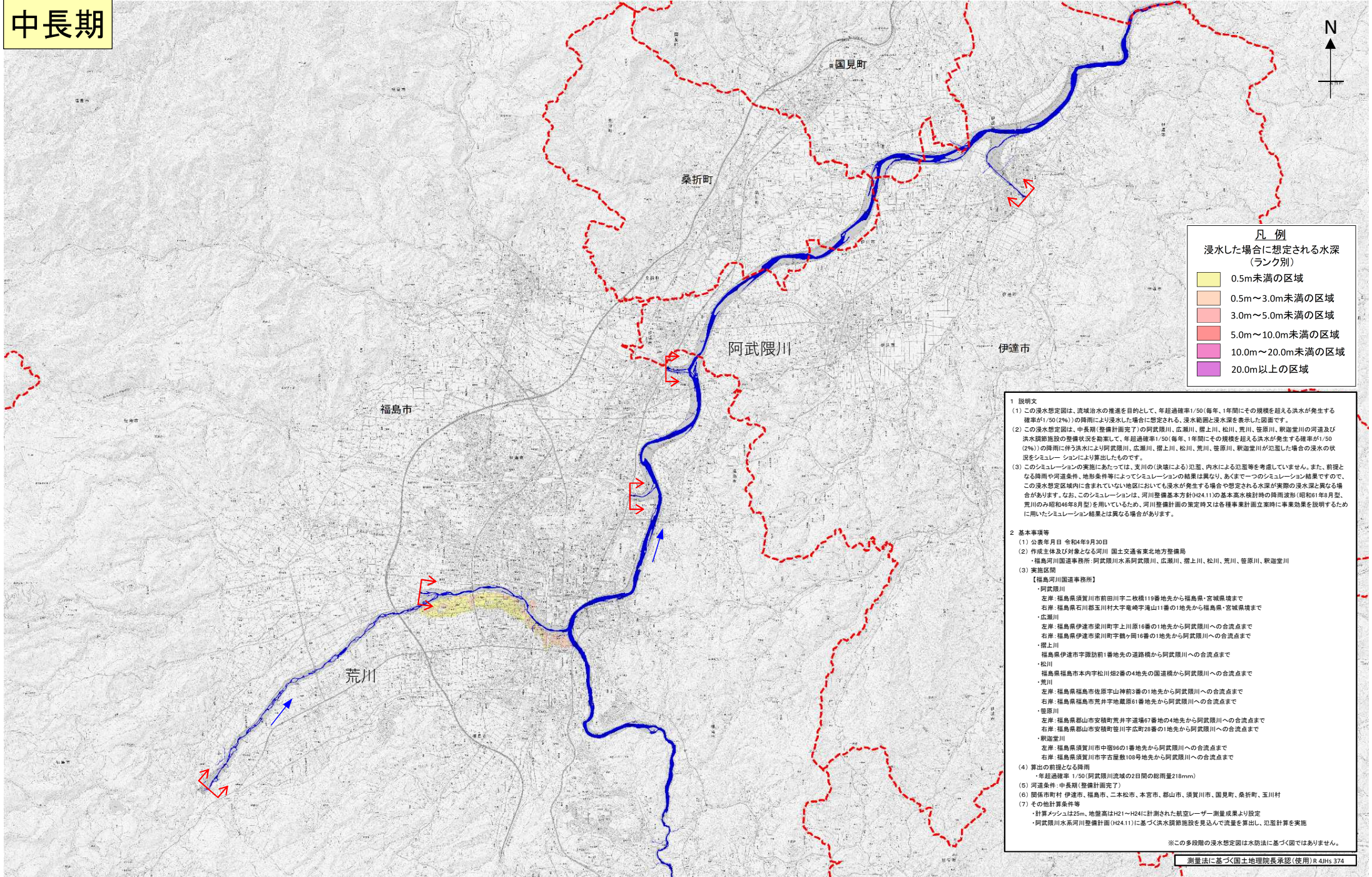


阿武隈川水系(福島県側) 国管理河川の浸水想定図【中長期】(1/50規模降雨)

中長期



凡例
 浸水した場合に想定される水深
 (ランク別)

| |
|------------------|
| 0.5m未満の区域 |
| 0.5m~3.0m未満の区域 |
| 3.0m~5.0m未満の区域 |
| 5.0m~10.0m未満の区域 |
| 10.0m~20.0m未満の区域 |
| 20.0m以上の区域 |

1 説明文

(1) この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

(2) この浸水想定図は、中長期(整備計画完了)の阿武隈川、広瀬川、楢上川、松川、荒川、菅原川、釈迦堂川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%))の降雨に伴う洪水により阿武隈川、広瀬川、楢上川、松川、荒川、菅原川、釈迦堂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、内水による氾濫等を考慮していません。また、前掲となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定図域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針(H24.11)の基本高水検討時の降雨波形(昭和61年8月型、荒川のみ昭和46年8月型)を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年9月30日

(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省東北地方整備局
 福島河川国道事務所 阿武隈川水系阿武隈川、広瀬川、楢上川、松川、荒川、菅原川、釈迦堂川

(3) 実施区間
 【福島河川国道事務所】
 ・阿武隈川
 左岸: 福島県須賀川市前田川字二枚橋119番地先から福島県・宮城県境まで
 右岸: 福島県石川郡玉川村大字竜崎字滝山11番の1地先から福島県・宮城県境まで
 ・広瀬川
 左岸: 福島県伊達市梁川町字上川原16番の1地先から阿武隈川への合流点まで
 右岸: 福島県伊達市梁川町字鶴ヶ岡16番の1地先から阿武隈川への合流点まで
 ・楢上川
 福島県伊達市宇面町1番地先の道路橋から阿武隈川への合流点まで
 松川
 福島県福島市本内字松川畑2番の4地先の国道橋から阿武隈川への合流点まで
 荒川
 左岸: 福島県福島市佐原字山神前3番の1地先から阿武隈川への合流点まで
 右岸: 福島県福島市荒井字地蔵原61番地先から阿武隈川への合流点まで
 ・菅原川
 左岸: 福島県郡山市安積町荒井字道場67番地の4地先から阿武隈川への合流点まで
 右岸: 福島県郡山市安積町菅川字広町28番の1地先から阿武隈川への合流点まで
 ・釈迦堂川
 左岸: 福島県須賀川市中宿96の1番地先から阿武隈川への合流点まで
 右岸: 福島県須賀川市古屋敷108号地先から阿武隈川への合流点まで

(4) 算出の前段となる降雨
 ・年超過確率 1/50(阿武隈川流域の2日間の総雨量218mm)

(5) 河道条件 中長期(整備計画完了)

(6) 関係市町村 伊達市、福島市、二本松市、本宮市、郡山市、須賀川市、国見町、桑折町、玉川村

(7) その他計算条件等
 ・計算メッシュは25m、地盤高はH21~H24に計測された航空レーザー測量成果より設定
 ・阿武隈川水系河川整備計画(H24.11)に基づく洪水調節施設を見込んで流量を算出し、氾濫計算を実施

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。